

# 「小数のたし算とひき算」筆算の書き方とやり方をわかりやすく解説

## 「小数のたし算の筆算」の書き方とやり方

かんたんな小数のたし算だったら、暗算でもできるけれど、数が大きくなったりすると、筆算を使った方がべんりだよ。

小数のたし算の筆算は、整数のときとやり方は同じだよ。

2.6 + 1.2 を筆算で計算しよう。

小数の筆算で一番大事なのが、小数点をそろえること。  
これさえまちがえなければあとは楽勝。

小数点をそろえて、あとは、上と下をたし算するだけだよ。

2	.	6
+	1	.
		2

たし算が終わったら、上の小数点にそろえて、答えにも小数点をうとう。

2	.	6
+	1	.
		2
		3
		.
		8



2.6+3.5を筆算で計算しよう。

小数点をそろえて、あとは、上と下をたし算するだけ。  
くり上がりも整数のたし算の筆算と同じようにするよ。

$$\begin{array}{r} 2.6 \\ + 3.5 \\ \hline \end{array}$$

たし算が終わったら、上の小数点にそろえて、答えにも小数点をうとう。

$$\begin{array}{r} 2.6 \\ + 3.5 \\ \hline 6.1 \end{array}$$

3+2.6を筆算で計算しよう。

小数点をそろえるよ。3って「3.0」と同じだよね。  
だから、次のように書くよ。(本当は、「.0」はかかなくてもいいよ)

$$\begin{array}{r} 3.0 \\ + 2.6 \\ \hline \end{array}$$



あとは、たし算して答えにも小数点をうとう。

$$\begin{array}{r} 3 \\ + 2.6 \\ \hline 5.6 \end{array}$$

### 「小数のひき算の筆算」の書き方とやり方

小数のひき算の筆算も、整数のときとやり方は同じだよ。

2.6-1.2を筆算で計算しよう。

ひき算の筆算でも一番大事なのが、小数点をそろえること。  
これをまちがえると、答えがぜんぜんちがっちゃうから注意しよう。

小数点をそろえたら、あとは、上から下をひくだけだね。  
ひき算が終わったら、上の小数点にそろえて、答えにも小数点をうとう。

$$\begin{array}{r} 2.6 \\ - 1.2 \\ \hline \end{array} \quad \rightarrow \quad \begin{array}{r} 2.6 \\ - 1.2 \\ \hline 1.4 \end{array}$$

5.1-3.5を筆算で計算しよう。

小数点をそろえて、あとは、上から下をひこう。  
くり下がりも整数の引き算の筆算のときと同じだよ。



ひき算が終わったら、上の小数点にそろえて、答えにも小数点をうとう。

$$\begin{array}{r}
 5.1 \\
 - 3.5 \\
 \hline
 \end{array}
 \rightarrow
 \begin{array}{r}
 \overset{4}{\cancel{5}}.1 \\
 - 3.5 \\
 \hline
 1.6
 \end{array}$$

3-2.6を筆算で計算しよう。

まずは小数点をそろえなくてはいけないね。

3って「3.0」と同じだよな。

だから、次のように書くよ。(本当は、「.0」はかかなくてもいいよ)

$$\begin{array}{r}
 3.0 \\
 - 2.6 \\
 \hline
 \end{array}$$

上から下をひいて、答えにも小数点をうとう。

$$\begin{array}{r}
 \overset{2}{\cancel{3}}.0 \\
 - 2.6 \\
 \hline
 .4
 \end{array}$$



ただ、「.4」でおわってしまったらすごくおかしいよね。  
 「2-2=0」の「0」も書かなくてはいけないね。  
 なので、これは「0.4」になるよ。

$$\begin{array}{r} \overset{2}{\cancel{3}} \overset{1}{0} \\ - 2.6 \\ \hline 0.4 \end{array}$$

22.6-3.7を筆算で計算しよう。

小数点をそろえて、あとは、上から下をひこう。  
 くり下がりも整数のときと同じだよ。  
 ひき算が終わったら、上の小数点にそろえて、答えにも小数点をうとう。

$$\begin{array}{r} 22.6 \\ - 3.7 \\ \hline \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} \overset{1}{\cancel{2}} \overset{11}{\cancel{2}} \overset{1}{6} \\ - \overset{1}{2} \overset{12}{\cancel{2}} \overset{1}{6} \\ \hline 18.9 \end{array}$$

### 「小数のたし算とひき算の筆算」まとめ

小数のたし算・ひき算の筆算では、小数点をそろえて書く。  
 計算が終わったら、上の小数点にそろえて、答えにも小数点をつける。

